

システム老朽化更新

お客様のニーズにあった老朽化更新提案を実施致します。

はじめに

システム老朽化更新に関して、システムの更新を最適に実施する方法を提案します。以下のような悩みに対応します。

- ①パソコンとPLCで構成されたシステムのパソコンだけを老朽化更新したい。
- ②システムの内容がわからないシステムを更新したい。
- ③システムの老朽化更新をとにかく安価で実施したい。
- ④老朽化更新時に機能アップしたい。

当社老朽化更新の基本方針

(1)ハードウェア更新

(1-1)代替品, 中古パソコン活用によるハードウェア更新

(1-2)パソコンの基本ソフトのバージョンアップによる更新

(2)単純コンバート

(3)新規システム構築

お客様のニーズにあわせて最適な更新方法を提案します。

各更新方式の特徴

(1) ハードウェア更新

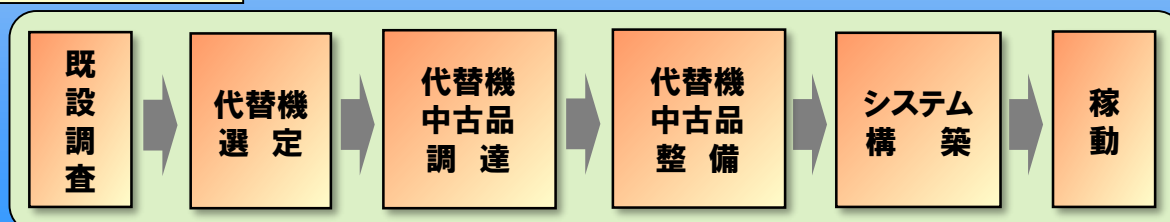
(1-1) 代替品・中古パソコン活用によるハードウェアの更新

(現状のシステムと同型のパソコンを用意し、ハードウェアのみを交換する方法)

選択のポイント

- ・とにかく安価にしたい。
- ・とにかく動作してくれれば良い。改造することもない。
- ・保有している同型のパソコンがあるので活用したい。

更新業務の流れ



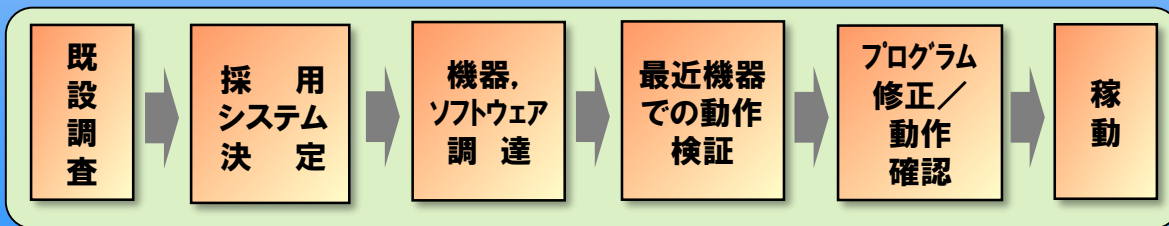
(1-2) パソコンの基本ソフトのバージョンアップによる更新

(パソコン本体、基本OS(Windows)は最新バージョンとし、ソフトウェアは既設を流用する。最新バージョンで動作しない部分のみ修正する方法)

選択のポイント

- ・安価にしたいが、ハードウェアは最新にしたい。
- ・とにかく動作してくれれば良い。改造することもない。
- ・最新バージョンでないWindowsシステムである。
- ・既設のソースプログラムが全て揃っている。

更新業務の流れ



(2) 単純コンバート

(パソコン本体、基本OS、ミドルウェア等を最新にして更新。ソフトウェアは既設プログラムを1行ずつ新システムで動作するように変更して、システムを構築する方法)

(例)

(旧)OS : UNIX
言語 : Fortran

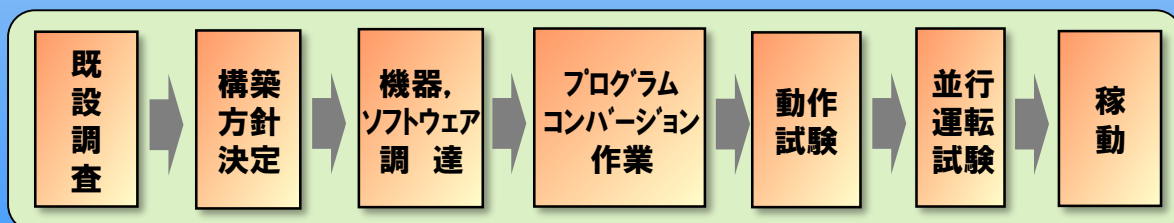


OS:Windows7
言語 : Visual Basic

選択のポイント

- ・将来の改造に備えて、いつでも改造できるように最新の技術を活用したい。
- ・基本ソフトのバージョンアップでの更新をしたいがバージョンアップができない。
- ・既設のソースプログラムが全て揃っている。

更新業務の流れ



(注意) 当方法は、既設システムのプログラムに不具合がある場合は、更新後のシステムにも不具合が引継がれる可能性があります。

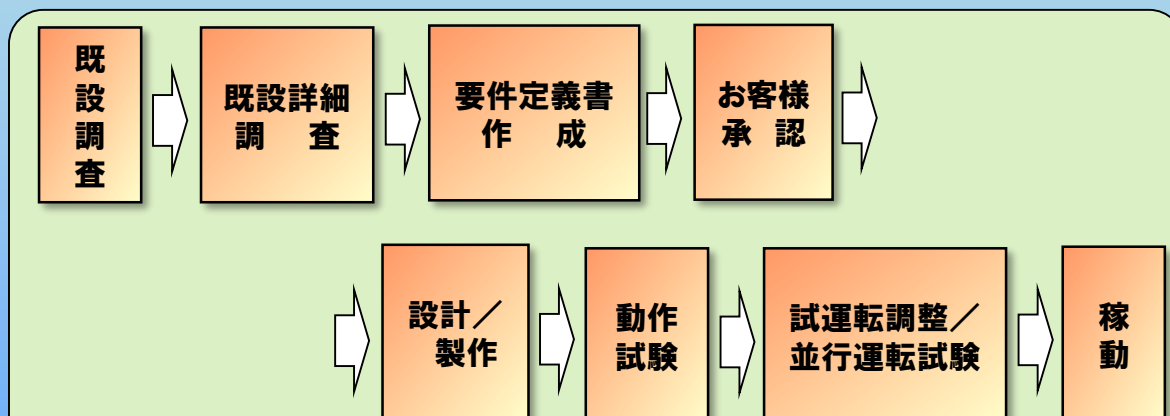
(3) 新規システム構築

(既設システムと同じ動作、同じ機能を有するシステムを新たに作成する方法)

選択のポイント

- ・既設システムのドキュメント、ソースプログラムがない。変更時に手直ししていないので、ハードウェア更新、単純コンバージョンができない。
- ・既設システムを熟知した技術者がいないので、ブラックボックス化している。
- ・システムの更新にあわせて、システムの改善・改造を実施したい。

更新業務の流れ



・既設詳細調査

- 1) 既設システムのドキュメント、プログラムソース、操作説明書等の現存する既設資産より、システムが具備すべき要件を導きだします。
- 2) 既設資産がない場合には、操作方法やシステムの出力結果、お客様からのヒアリング結果などから、システムが具備すべき要件を導きだします。


導きだした要件は、要件定義書として纏め、お客様の承認を得た上で、システムの製作を実施します。

・並行運転試験

既設システムと新システムを同時並行運転できる環境を構築し、新システムが既設システムと同じ動作を実施するように確認します。問題がある場合には、原因を調査します。

老朽化更新を検討されているご担当者様へ

当社では様々な老朽化更新の経験があり、更新方法のノウハウを有しております。お客様にとって最適な更新方法について提案してまいります。

 本パンフレットに書かれている構成、機能概要はシステム構成の例です。実際の構築はお客様との打合せにより決定していきます。

お問い合わせ先はこちら

株式会社 **コベルコE&M**

〒657-0846
兵庫県神戸市灘区岩屋北町4丁目5番22号
TEL 078-882-5271 FAX 078-871-3665

インターネットの情報もご覧ください

<https://www.kobelco-em.jp/>